

1. 大阪パークビジョンについて

目的

本ビジョンは、大阪府と大阪市の広域的利用が見込まれる公園緑地を対象として、ウイズコロナ／ポストコロナ時代の公園緑地を取り巻く社会情勢や環境を踏まえ、互いの公園緑地が持つ特性を活かして、これまで以上に各々の取組を連携・補完し、府域にその相乗効果を波及させ、大阪の広域的な公園緑地の魅力を高めていくための方向性として取りまとめたものである。
また、今後、府内市町村とも共有することにより、効果的な市町村の公園緑地行政の推進に寄与することをめざす。

対象

- 都市・地域を代表する“公園緑地”
- 広域的に利用されるもの
- 歴史・文化的なポテンシャルを有するもの

大阪市の
大規模公園

府営公園

府民の森

万博記念公園

※本ビジョンで扱う「公園緑地」とは、都市公園や府民の森などの、行政が土地の担保を有する施設緑地を対象とする。
規模は概ね10ha以上とし、総合的に判断する。



大阪城公園



服部緑地

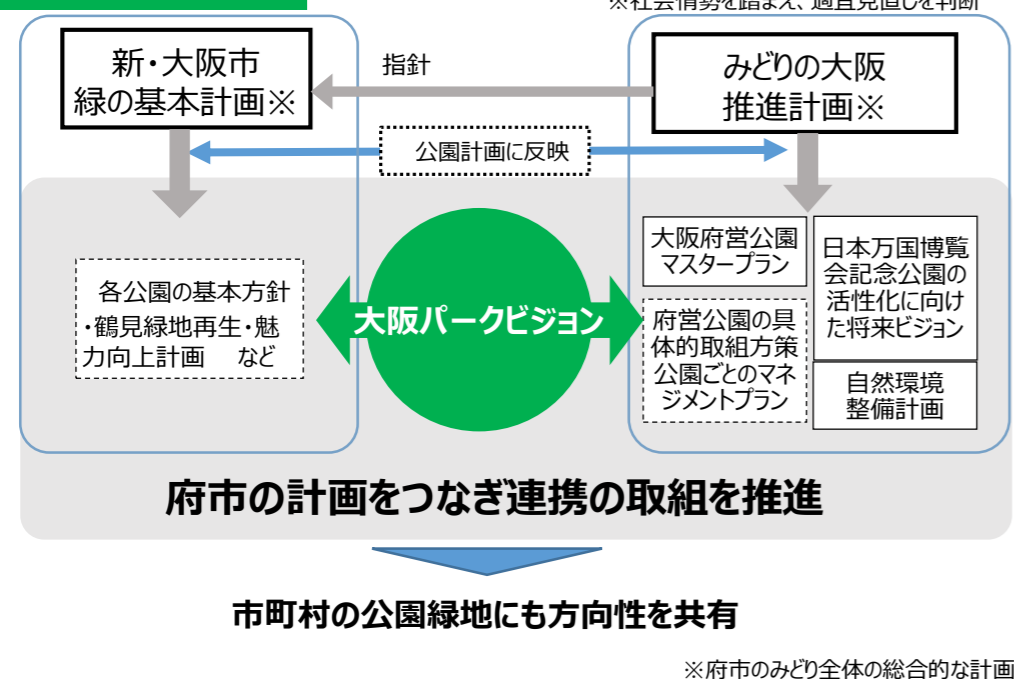


ほしだ園地



万博記念公園

計画の位置付け



2. 広域的な公園緑地の状況

主要で広域的な公園緑地は国や大阪府、大阪市が管理しており、都心部では多様な施設がある公園緑地が複数配置されている。一方、臨海部や山麓部、都心から離れた郊外部などにも配置され、結果、広域的な公園緑地は府域にバランスよく配置されており、既存ストックを含め、既に高いポテンシャルを持っている。

3. 広域的な公園緑地がめざす方向性

府市連携による方向性

その公園が持つポテンシャルを最大限に活かしながら、利用者ニーズも意識した最適なマネジメントを実施し公園緑地の魅力を高めていくため、**更に府市連携を強化し、互いの機能を補完することによって生み出される相乗効果を府域に波及させていく。**

4. 府市連携による相乗効果を高める取組方針

重視すべき視点 + 府市連携

取組方針

既存ストックの
有効活用

公園緑地の
多様な使い方の
提供

質の高い
都市空間の
形成

府市連携の強化

① 既設公園緑地の官民連携

知識・ノウハウ
の連携

→府市がこれまで蓄積してきた技術的ノウハウと民間活力導入ノウハウを連携させ、公園緑地の整備・管理運営に最大限活用し、緑の環境を活かした様々な施設の導入やイベントの実施などにより、その収益等を還元しながら、安全・安心な公園緑地の更なる魅力向上につなげていく
【取り組み例】



民活による新たな施設整備等による魅力向上



緑を活かした公園の魅力を高めるイベントの実施



スマートグラスによる業務効率化の検証

② 公園緑地間や周辺施設等との連携強化

イベント・情報発信
などのソフト連携

→府域の多様な公園緑地の連携を強化するとともに、公園緑地に係わる各種活動団体・企業などとのプラットフォームの設置などにより、相互に協力した情報発信やイベントなどを実施し、生活の質を高める楽しみ方の選択肢を広げていく
【取り組み例】



住民・企業等と連携したプラットフォームの設置



花やイベントなどの情報を府市共通HPなどで発信



新たな公園の利活用の取組を市から府域全域へ展開

③ まちづくりと一体となった新たな公園緑地整備

一体整備などのハード連携

→都市や地域の顔となる公園緑地において、質の高い空間の維持・創出を促し、まちづくりの中での効果的な活用や景観形成の観点をもって、まちの活性化や魅力向上に資する公園緑地整備を推進する
【取り組み例】



新たなまちの中心となるうめきた2期公園



歴史文化観光拠点 難波宮跡公園



いこい・賑わい拠点 りんく公園エリア

相乗効果を府全域に波及



5. 今後の取組の推進に向けて

ビジョン策定後は、府市が一体となった推進体制を構築し、府内市町村はもちろんのこと、国等の関係者とも意見交換しながら取組を推進するとともに、必要に応じてビジョンの内容を見直していきます。